

【ポスター発表（5）】

団体名：NPO法人国際支援地球村

≪団体概要≫

○団体代表者：特定非営利活動法人国際支援地球村 代表 梶原 美佳

○団体法人登記所在地：宮城県石巻市大森字町 9 番地

○団体連絡事務所所在地：宮城県石巻市蛇田字中塚 18-7

（連絡先）

- ・ 電話： 0225-90-3033
- ・ FAX： 0225-90-3033
- ・ E-mail： k.earth@salsa.ocn.ne.jp

○設立目的と活動内容

・ 設立目的

この法人は日本に居住する外国人と市民に対して、生活支援や国際交流に関する事業を行い、地域社会に寄与することを目的とする。

・ 活動内容

1. 外国人相談窓口（がいこくじんそうだんまどぐち）

毎日の生活の中で、何か困った事があったらお気軽に相談してください。
心の悩みもお気軽に相談してください。

2. 日本語教室（にほんごきょうしつ）

外国人に対する日本語教室です。
日常生活で困らない日本語を身につけましょう。（初級・中級）
日本語能力試験コースもあります。

3. 国際理解を深めるための活動（こくさいりかいをふかめるためのかつどう）

「多文化共生社会」について理解を広める。
多文化課程、児童、青少年支援（社会性、学習、言語など）
楽しいイベントも開催いたします。



～みんな地球人～

国籍、肌の色、文化は違っても、わたしたちはみんな地球に住む仲間。

事業実施概要

| | | | | |
|--------------|--|--|------------|--|
| 事業名称 | 復興と共にすすめる日本語教育と多文化共生社会の体制整備事業 | | | |
| 地域の課題 | 東日本大震災後の当地は、定住外国人にとって以前からあった家庭内や地域住民とのコミュニケーション不足による問題が、今回の震災ストレスによって、より一層増し、不安や不満といった問題が山積し解決に至っていない。 | | | |
| 事業の目的 | 被災地の住民の一人として、震災復興支援事業（ボランティア活動等）に参加し、日本語教室で習得した日本語を使って地域住民と実践的なふれあいを通じてコミュニケーションの向上をはかり、多文化共生社会の体制整備を行う。 | | | |
| 事業内容 | 取組1 | | 取組2 | |
| | 名称 | 災害ボランティアと地域イベントの参加と企画 | 名称 | 日本語教室(防災日本語教室) |
| | 内容 | ○震災被災者への支援ボランティア活動・・・仮設住宅住民で企画されるイベントへの学習者のボランティア活動（芋煮会等） | 内容 | ○日常生活に必要な日本語学習 ○地域文化、習慣、ルールを理解する日本語学習 ○地域の言葉、方言の学習 ○昨年度に引き続き、災害に対応できる日本語学習 |
| | 対象 | 日本語教室の学習者とイベント参加者(地域住民等) | 対象 | 石巻市および周辺地域定住外国人 |
| | 時間 | 総時間数 20 時間 | 時間 | 総時間数 80 時間 |
| | 人数 | 65 名 | 人数 | 26 名 |
| | 取組3 | | 取組4 | |
| | 名称 | シンポジウムの開催 | 名称 | 日本語交流サロン |
| | 内容 | 学習者が約一年間日本語教室で習得した成果を発表する機会を通じて、自信と更なる学習意欲をもたせ、みずからが地域住民の一人となるよう積極的に推進させる。 | 内容 | ○学習者が日本語で体験を語る活動を行い、カウンセリングの専門家を招き、語りで使用することば(こころの表現)の学習。 ○学習した言葉(こころの表現)を使用した交流会の実施。 |
| | 対象 | 地域住民、日本語教室の学習者 | 対象 | 石巻市の定住外国人 |
| | 時間 | 総時間数 12 時間 | 時間 | 総時間数 31 時間 |
| | 人数 | 27 名 | 人数 | 13 名 |
| 連携体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 石巻市企画部市民共同推進課 ・ 事業開催告知、地域連携等 ・ 東北大学準教授 李仁子氏（多文化間精神医学会会員・多文化間アドバイザー） ・ 宮城学院女子大学準教授 澤邊裕子氏・・・日本語教育指導アドバイス | | | |
| 成果と課題 | 4 つの取組を通して多文化共生の基盤作りのスタートを切ることはできたが、継続するためには定期的に地域住民と共に活動できる機会を設ける必要がある。今回の事業で外国人が得た自信や防災知識を忘れないようにするために継続支援が必要。 | | | |